



西巣鴨幼稚園だより

にしすようでなにしよう？

1月号

令和8年1月8日発行

豊島区立西巣鴨幼稚園

園長併任 後藤 大輔

Nishisugamo-k@city.toshima.ed.jp

『大きな飛躍の年に』

園長併任 後藤 大輔

新年明けましておめでとうございます。今年の干支は午（うま）です。午（うま）は馬を象徴しており、活力や行動力、前進、情熱、といった意味合いがあり、新しい挑戦や大きな飛躍が期待される1年になるとされています。今年の4月には小学生になるほし組の子どもたちにぴったりの干支です。

ほし組の子どもたちは、いよいよ3か月後には小学校に入学します。これまで幼稚園では様々な活動を通して経験を重ね、成長してきました。今年度はもも組がない中での生活になりましたが、そのような中でも多くの人と交流もしてきています。

運動会を通して西巣鴨新田町会の方々にお神輿に触れさせていただいたり、巣鴨北中学校の3年生と交流活動をしたりしてきました。12月のほし組ランドには、西巣鴨小学校の子どもたちだけではなく、西巣鴨第三保育園に来てもらい、交流しました。また、この交流をきっかけに、今度は西巣鴨第三保育園のお店屋さん遊びにも参加してきました。この活動を通して、西巣鴨第三保育園の子どもたちとはすでに顔見知りになり、「同じ学校だね」などと会話していました。

こうして、今年度は少ない人数だからこそこのフットワークの軽さを生かし、様々な経験を重ねてきています。残りの3か月でも活動の充実を図り、ほし組の子どもたちが自信をもって小学校へ入学していくよう努めて参ります。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

1月はこのような指導をします

ほし組

- 友達に自分の考えを言ったり、友達の考えを受け入れたりしながら、遊びや生活を一緒に進めていくように指導します。
- カルタやこまなどの正月遊びを友達と一緒に楽しむ中で、文字や数に興味や関心がもてるようになります。
- 学級の友達と一緒に子ども会に向けた活動を取り組む中で、自分らしさを発揮し、これまでの経験を生かして劇を作り上げる充実感を味わえるようにしていきます。